

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会		
	課名	スポーツ文化課		
	係名	体育係		
	記入者		電話(内線)	612

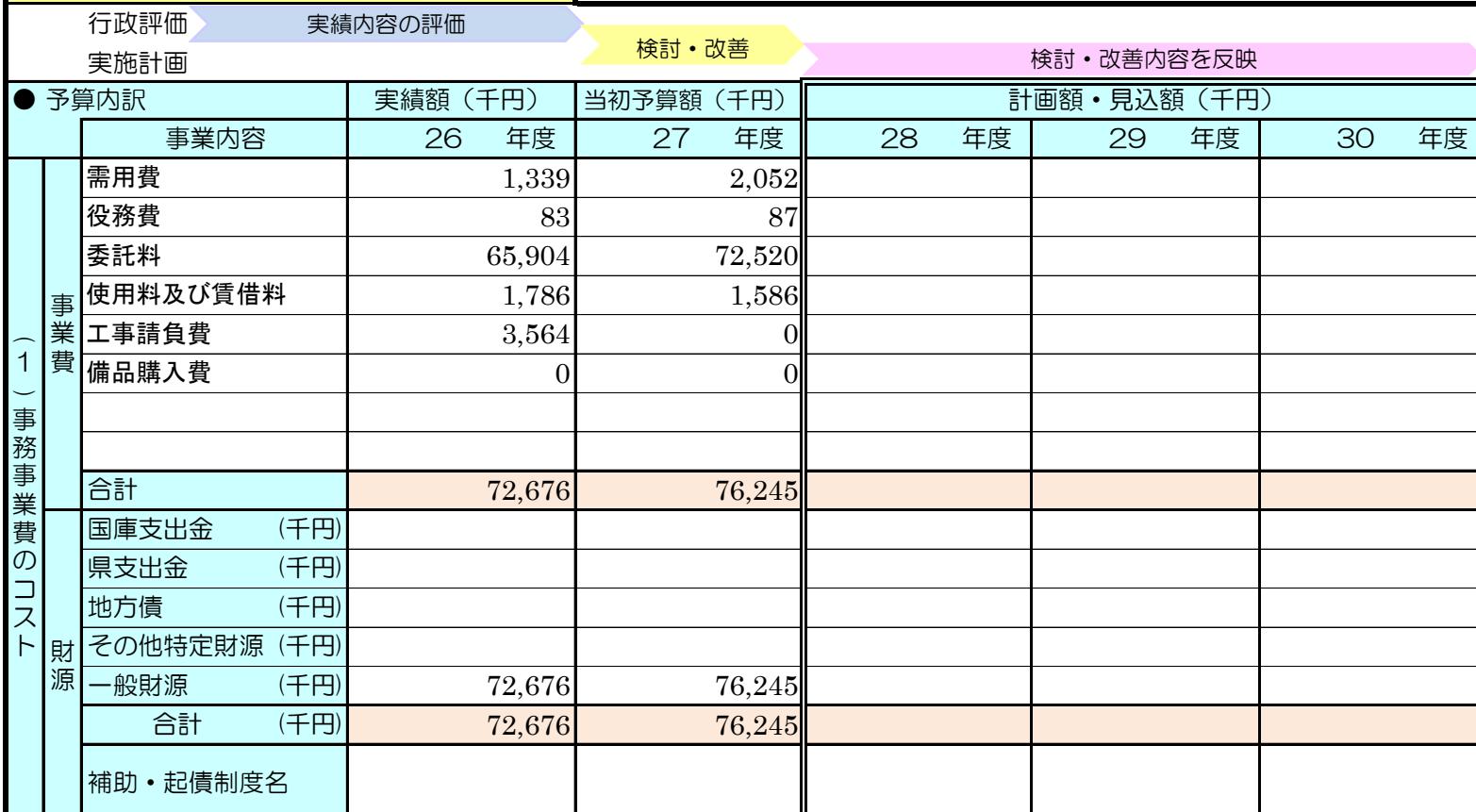
1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事業事業 の名称	体育施設管理運営事業(鹿窪運動公園)	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ	(6) 事業主体	市			
① 事業の区分	主要事業		(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 会計区分 財源区分 予算科目 予算書上の 事業名称	一般事業費(ソフト事業) 一般会計 市単独 款 10 項 6 目 2 鹿窪運動公園管理運営経費 (予算書 185 ページに掲載)
② 施策コード	43101 (総合計画掲載ページ 109 ページ)				
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				
基本施策	3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進				
施策	スポーツ・レクリエーション活動環境の充実				
施策内容	施設の有効活用				
(5) 事業期間	開始 昭和 24 年 月から 終了 年 月まで (力年)	(8) 事務分類	自治事務		
		根拠法令	結城市鹿窪運動公園施設の設置及び管理に関する条例		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象（だれに対して・何に対して行うのか） 施設利用者	(3) めざす姿（意図・どのような状態になるのか） 適切な維持管理により、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ等を楽しめる拠点となる施設として整備を進める。
(2) 手段（事業内容・どのようなことを行うのか） <ul style="list-style-type: none">鹿窪運動公園管理を指定管理者に委託し、適切な維持管理を実施する。第4駐車場を買収し、不足している駐車場を確保する。施設用備品の管理を実施し、適切な備品の更新を行う。年次計画により、整備工事を行う。 28年度 進入路水たまり解消・ポストコーン設置 29年度 ゲートポール改修・駐輪場屋根改修 30年度 駐車場ライン引き	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし) 体育施設の整備に合わせ、維持管理を実施。近隣他市も、市民スポーツの拠点となる施設を有し、独自に管理を実施している。
(5) 事業をとりまく環境の変化（社会環境、市民ニーズ等）や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応 市民のニーズが多様化しており、優先順位の高いものから計画的に実施。また、体育施設及び施設設備品等の修繕や更新を順次実施。	

3. 事業コスト



4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
指標名	事業開催 (指定管理者自主事業・共催事業)		目標値	回	25	25	25	25
			実績(見込)値		18	25		
指標名			目標値					
			実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）								
指標名	施設利用者数			目標値	人	180,000	180,000	180,000
				実績(見込)値		159,471	180,000	
指標名				達成率		88.6 %	100.0 %	
				目標値				
				実績(見込)値				
			達成率	%	%			

5. 事業評価

(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

- ・利用者へのサービスの向上、施設の充実を図るため、各種設備の修繕、器具等の更新を実施。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	成人週1スポーツの拠点となる施設であり、今後も適切な管理を実施しなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。
	手段の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	施設の改修、設備切り替え等
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民の誰もが利用できる施設であり、性質上利用できない種目等あるが、一般的であり公平性は確保されている。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	昨年度より利用者は若干減っているが、概ね横ばい傾向である。
進捗度	事業の進捗	A	順調である	順次、施設改修、器具等の更新を実施。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

- ・大規模な大会開催時に駐車場が不足する。
- ・利用者の増加及び満足度の向上のため、施設の安全確保及び機能強化を図る。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

- ・今後も施設・設備の強化、拡充及び安全対策を計画的に行っていく。自主事業・共同事業等の積極的開催、コスト効率の改善を図る。
- ・現在借地している駐車場及びその隣地の買収を行い、駐車場の整備を図る(都市計画課と調整)。

6. 事業の方向性判断

評価主体	27年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1)記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2)一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	指定管理者制度の利点を活用しつつ、市との連携を密にしながら、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ・レクリエーションを楽しめる拠点となるよう整備充実を図る。
(3)最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。